

連結財務諸表(要旨)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当連結 会計年度 2017年4月1日～ 2018年3月31日
営業収益 Point ①	1,466,852	1,538,813
営業原価	1,385,492	1,452,485
営業総利益	81,359	86,327
販売費及び一般管理費	46,474	50,642
営業利益 Point ②	34,885	35,685
営業外収益	2,044	2,596
営業外費用	2,045	2,196
経常利益	34,884	36,085
特別利益	757	1,821
特別損失	2,603	4,783
税金等調整前当期純利益	33,037	33,123
法人税等	14,672	14,435
当期純利益	18,364	18,688
非支配株主に帰属する当期純利益	311	456
親会社株主に帰属する当期純利益 Point ③	18,053	18,231

ポイント解説

Point ①

営業収益は、デリバリー事業の構造改革を推進したことにより、宅急便取扱数量は減少したものの宅急便単価が上昇したこと、ノンデリバリー事業において、グループ各社の強みを生かした既存サービスの拡充やソリューション営業を積極的に推進したことなどにより、前連結会計年度に比べ4.9%増加の1兆5,388億13百万円となりました。

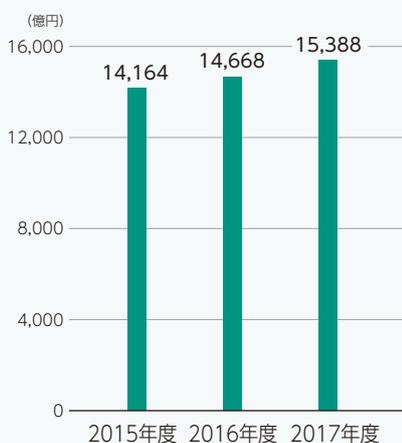
Point ②

営業利益は、上期までの宅急便取扱数量の増加や社員の負担軽減に向けた取組みに連動し、委託費等の下払経費や人件費の増加など、営業費用全体が増加したものの、営業収益がそれ以上に増加したことから、前連結会計年度に比べ2.3%増加の356億85百万円となりました。

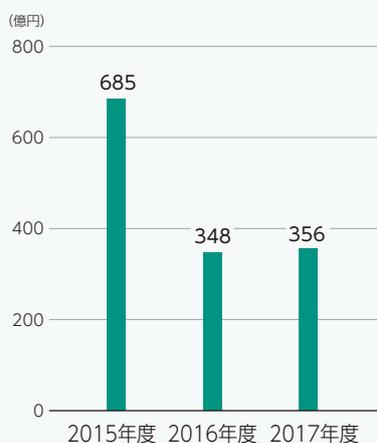
Point ③

親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に比べ1.0%増加の182億31百万円となりました。

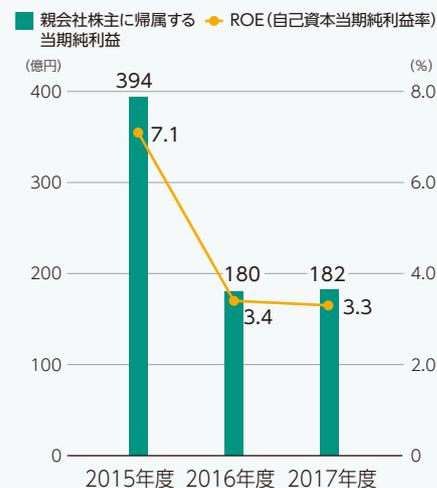
営業収益



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益 / ROE (自己資本当期純利益率)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2017年3月31日	当連結 会計年度 2018年3月31日
[資産の部]		
流動資産	586,510	578,880
固定資産	528,162	536,553
有形固定資産	405,070	405,057
無形固定資産	21,671	20,131
投資その他の資産	101,420	111,363
資産合計 Point ①	1,114,672	1,115,433
[負債の部]		
流動負債	371,848	395,037
固定負債	197,264	162,809
負債合計 Point ②	569,113	557,846
[純資産の部]		
株主資本	534,241	541,821
その他の包括利益累計額	4,938	8,486
非支配株主持分	6,379	7,279
純資産合計 Point ③	545,559	557,586
負債純資産合計	1,114,672	1,115,433

ポイント解説

Point ①

資産合計は、「関西ゲートウェイ」の稼働開始に伴う物流機器の新設などにより機械及び装置が増加した一方で、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ7億61百万円増加し、1兆1,154億33百万円となりました。

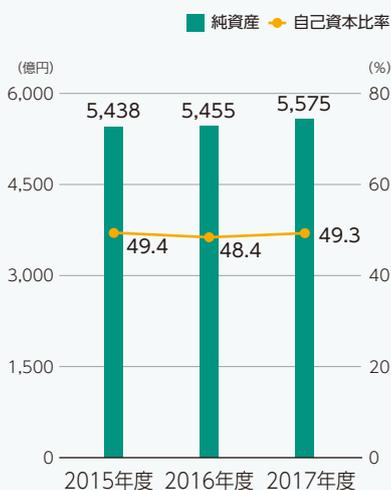
Point ②

負債合計は、グループ資金を活用したことで借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度に比べ112億66百万円減少し、5,578億46百万円となりました。

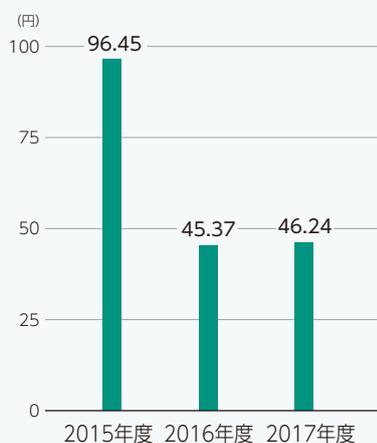
Point ③

純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純利益が182億31百万円となったこと、および剰余金の配当の実施などにより、前連結会計年度に比べ120億27百万円増加し、5,575億86百万円となりました。

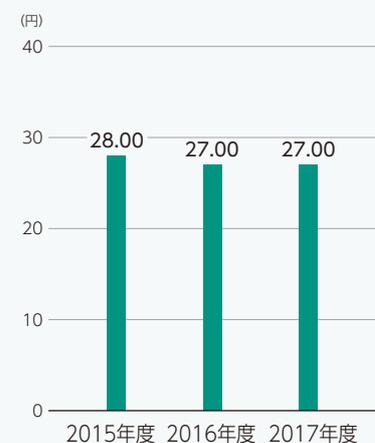
純資産／自己資本比率



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



注: 2015年度の1株当たり配当金には、宅急便40周年記念配当として2円が含まれております。

連結財務諸表(要旨)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当連結 会計年度 2017年4月1日～ 2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	73,324	51,728
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△73,999	△41,174
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△18,777	△36,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	△882	313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,335	△26,063
現金及び現金同等物の期首残高	249,261	228,926
現金及び現金同等物の期末残高	228,926	202,863

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

検索

ポイント解説

Point 1

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度において特別給付貸金引当金151億29百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度に比べ収入が215億96百万円減少し、517億28百万円の収入となりました。

Point 2

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出の減少などにより、前連結会計年度に比べ支出が328億25百万円減少し、411億74百万円の支出となりました。

Point 3

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の取支による支出の増加などにより、前連結会計年度に比べ支出が181億52百万円増加し、369億30百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー

